

# 外国人留学生体験授業型入試 1期・2期

(エントリー方式)

入試のポイント

- ・ エントリー(体験授業の受講)無料。
- ・ 出願手続き時の検定料について、2026年2月～9月のオープンキャンパスに参加した方は、2万円減免。
- ・ 志望するコースの授業を1日受講。複数コースの授業を受けて進学先を決めることができます。

会場

京都

評価のポイント

P09-20に記載

コース併願

1期 最大3コース※ 2期 最大2コース※

同一コースで複数日程エントリーすることや、1日で複数コースをエントリーすることはできません。※情報デザイン学科は、4コース共通で体験授業を行います。情報デザイン学科内のコース併願を希望する場合は、1日の授業で最大4コースまで併願可能です。そのため、情報デザイン学科と他コースを受験する場合は、1期は最大6コース、2期は最大5コースの併願が可能です。※複数コースを併願する場合、志望順位を決めてエントリー可能ですが、出願時に出願手続(進学)するコースは、体験授業の印象などを考慮して決めることが可能です。

	1期	2期																								
1	インターネットエントリー登録																									
≡	8月19日(水)～31日(月) ※最終日は23:59まで登録可	9月17日(木)～28日(月) ※最終日は23:59まで登録可																								
2	エントリー書類提出																									
≡	8月19日(水)～9月1日(火) ※必着	9月17日(木)～29日(火) ※必着																								
3	試験日(体験授業を受講)																									
≡	<table border="0"> <tr> <td>A日程  </td> <td>B日程  </td> <td>C日程  </td> <td></td> <td>A日程  </td> <td>B日程  </td> </tr> <tr> <td>9月11日(金)</td> <td>12日(土)</td> <td>13日(日)</td> <td></td> <td>10月10日(土)</td> <td>11日(日)</td> </tr> <tr> <td>D日程  </td> <td>予備日  </td> <td>試験時間   各日9:30-16:30</td> <td></td> <td>予備日  </td> <td>試験時間   各日9:30-16:30</td> </tr> <tr> <td>14日(月)※</td> <td>14日(月)</td> <td>※自然災害等の事情でA-C日程の入試が実施できない場合、予備日で入試を実施します。</td> <td></td> <td>12日(月・祝)</td> <td>※自然災害等の事情でA・B日程の入試が実施できない場合、予備日での入試を実施します。</td> </tr> </table>	A日程	B日程	C日程		A日程	B日程	9月11日(金)	12日(土)	13日(日)		10月10日(土)	11日(日)	D日程	予備日	試験時間   各日9:30-16:30		予備日	試験時間   各日9:30-16:30	14日(月)※	14日(月)	※自然災害等の事情でA-C日程の入試が実施できない場合、予備日で入試を実施します。		12日(月・祝)	※自然災害等の事情でA・B日程の入試が実施できない場合、予備日での入試を実施します。	
A日程	B日程	C日程		A日程	B日程																					
9月11日(金)	12日(土)	13日(日)		10月10日(土)	11日(日)																					
D日程	予備日	試験時間   各日9:30-16:30		予備日	試験時間   各日9:30-16:30																					
14日(月)※	14日(月)	※自然災害等の事情でA-C日程の入試が実施できない場合、予備日で入試を実施します。		12日(月・祝)	※自然災害等の事情でA・B日程の入試が実施できない場合、予備日での入試を実施します。																					
4	エントリー結果発表																									
≡	9月25日(金) ※10:00にインターネットエントリーサイトにて公表 (インターネットエントリーサイトへのログインが必要です)	10月16日(金) ※10:00にインターネットエントリーサイトにて公表 (インターネットエントリーサイトへのログインが必要です)																								
5	出願手続																									
≡	9月26日(土)～10月2日(金) ※必着	10月17日(土)～23日(金) ※必着																								
6	一次審査合格発表																									
≡	11月2日(月) ※10:00にインターネットエントリーサイトにて公表																									
7	0年生プログラム(必修)																									
≡	<table border="0"> <tr> <td>第1回 登学日  </td> <td>第2回 登学日  </td> <td></td> </tr> <tr> <td>12月6日(日)</td> <td>2027年2月6日(土)～14日(日)</td> <td>※第2回登学日については、コースごとにいずれか1日を指定</td> </tr> </table>	第1回 登学日	第2回 登学日		12月6日(日)	2027年2月6日(土)～14日(日)	※第2回登学日については、コースごとにいずれか1日を指定																			
第1回 登学日	第2回 登学日																									
12月6日(日)	2027年2月6日(土)～14日(日)	※第2回登学日については、コースごとにいずれか1日を指定																								
8	最終合格発表																									
≡	2027年1月7日(木) 通知投函 ※Web発表なし																									
9	入学手続																									
	2027年1月19日(火) 手続締切																									

## 1 インターネットエントリー登録

手続  
インターネット

検定料  
エントリー無料

### ① コース・日程を選ぶ

1日程につき1コースの体験授業(情報デザイン学科は4コース共通で実施)となります。日程は、自分で選択でき(キャラクターデザインコース・マンガコース・情報デザイン学科の一部以外※)1コースからエントリーできます。  
※P08体験授業型入試1期情報キャラクターデザインコース・マンガコース・情報デザイン学科受験日程についてを必ず確認してください。

### ② エントリー

証明写真をデータで用意し、フォームよりエントリーしてください。  
※締め切り間際はアクセスが集中しますので余裕を持って登録してください。  
エントリー期間終了後、エントリー内容の変更はできません。詳細はP46

## 2 エントリー書類提出

手続  
郵送または窓口持参

### ① エントリー書類提出

エントリー書類をダウンロード・印刷してください。その他必要な書類と共に郵送または窓口持参にて提出してください。エントリーに必要な書類はP21を確認してください。  
窓口受付 | 月～土 9:00～17:30(日・祝休)  
※海外から郵送する場合は日数がかかりますので早めにインターネット出願登録を行い、すぐに書類を提出してください。必着日は変わりませんのでご注意ください。詳細はP48

### ② 受験票をダウンロード

エントリー時に登録されたメールアドレスに受験票発行通知メールをお送りします。各自でダウンロード・印刷し、試験日にお持ちください。試験当日の注意事項が記載されています。  
※試験前日になっても受験票発行通知メールが届かない場合は、アドミッション・オフィスまでお問い合わせください。詳細はP49

## 3 試験日(体験授業を受講)

試験時間 | 各日 9:30～16:30

自然災害等の事情で通常日程の入試が実施できない場合は、予備日に試験を実施します。

各コースの体験授業内容、評価ポイント、持参物はP09-20

## 4 エントリー結果発表(結果通知の送付はありません)

### 「出願可」の場合

入学の意思がある方は、5の出願手続に進んでください。複数コースで「出願可」の場合は、体験授業の印象などを考慮し、出願手続(進学)するコースを決めてください。入学の意思がない場合は出願手続をしなくても、以降の入試に影響はありません。

### 「出願不可」の場合

今回の結果に関して、以降の入試に影響はありません。1期の場合は「外国人留学生体験授業型入試2期」以降、2期の場合は「外国人留学生科目選択型入試」以降の入試にチャレンジしてください。

## 5 出願手続 ※出願手続より専願となります

手続  
郵送または窓口持参

検定料  
35,000円または15,000円

インターネット出願サイト上で、出願書類をダウンロードし、郵送または窓口持参にて提出してください。  
出願に必要な書類はP22-23を確認してください。出願手続後の辞退は受け付けません。

※2026年2月～9月実施のオープンキャンパスに参加した場合は検定料15,000円

オープンキャンパススケジュールはP04

**【重要】**専願とは最終合格となったら本学に入学することを前提として出願することです。  
入学辞退はできませんのでよく検討して出願してください。

また、これ以降、別途試験はありません。※出願手続要項、出願書類等については4のエントリー結果発表時に大学Webサイトにてお知らせします。

## 6 一次審査合格発表(結果通知の送付はありません)

手続  
郵送または窓口持参

出願手続きを完了した方は、インターネット出願サイト上で「最終合格発表について」をダウンロード・印刷し、「一次審査合格の確認書」を郵送してください。

## 7 0年生プログラム(必修)

外国人留学生体験授業型入試で合格された方は、大学での創作・研究に向かうための、指定の登学日に大学での授業に参加するほか、大学での学修に必要な基礎を養うための課題に取り組みます。入学後にどのような授業が始まっていくのか期待を膨らませ、また入学までに何を意識して、何に取り組むべきかを授業の中で感じ取ってください。

※0年生プログラムへの取り組みが適切に行われない場合は、改善指導をします。指導をした上でも改善が見られない場合は、入学許可を取り消す場合があります。

※0年生プログラムの内容は変更となる場合があります。

## 8 最終合格発表(インターネット出願サイトでの発表はありません)

日本留学試験「日本語」の成績または日本語能力試験の結果および0年生プログラムの取り組み具合等を総合的に判定します。

合格者には合格通知、入学手続要項などの書類を送付します。不合格者にも通知を送付します。

## 9 入学手続

締切日までに入学手続時納入金を納め、入学手続を済ませてください。詳細はP55

# 外国人留学生体験授業型入試 1期

## キャラクターデザインコース、マンガコース、 情報デザイン学科

〔ビジュアルデザインコース/イラストレーションコース  
ゲームクリエイションコース/映像クリエイションコース〕

### 受験日程について

※1日程で最大4コースまで併願可能、4コース共通授業

キャラクターデザインコース、マンガコース、情報デザイン学科は、受験会場調整のため、  
受験日程が日本語能力により変わります。可否に影響はありません。

#### 日本語条件における「キャラクターデザインコース」「マンガコース」「情報デザイン学科」日程選択の流れ

##### step1 受験日程の確認

エントリー(8/19~8/31)時点で以下の①~③いずれかに該当する

- ① EJU 220点以上      ② JLPT N2以上合格      ③ 日本の高等学校もしくは中等教育学校卒業(見込)者

はい

いいえ

A~C日程の選択が可能(D日程の選択は不可)

D日程のみ選択が可能

step2へ進む

##### step2 他コースを併願する場合

キャラクターデザインコース/  
マンガコース/情報デザイン学科  
以外のコースを併願する場合

キャラクターデザインコース/  
マンガコース/情報デザイン学科

A~C日程の選択が可能

併願不可

#### 受験日程が日本語能力により変わります。

- ・ 受験会場調整のため、受験日程が日本語能力により変わります。可否に影響はありません。
- ・ A~D日程の授業内容は同じです。全ての日程で通訳等の特別な配慮はありません。
- ・ インターネットエントリー時に現在の日本語能力の取得状況を申告していただきます。
- ・ インターネットエントリーの時、自身の日本語能力について正しく申告を行わなかった場合、受験の際に不利益に繋がる可能性があります。
- ・ EJU/JLPT以外の検定は含みません。

#### 日本語条件について

##### 【A~C日程】

##### (1) 日本留学試験(EJU)

対象期間：2025年6月/11月/2026年6月のいずれか

取得得点：「日本語」の【読解+聴解・聴読解(各200点、合計400点)】220点以上(記述問題の得点は含まない)

##### (2) 日本語能力試験(JLPT)

対象期間：2024年12月/2025年7月/12月/2026年7月のいずれか

取得レベル：N2以上合格

##### (3) 日本の高等学校もしくは中等教育学校卒業(見込)者

##### 【D日程】

上記(1)~(3)以外の方

キャラクターデザインコース、マンガコース、情報デザイン学科は、D日程で入試を行うため併願できません。

# 外国人留学生体験授業型入試 1期・2期

(エントリー方式)

## 授業内容・評価ポイント・持参物

### 美術工芸学科 日本画コース

体験授業内容

#### 1期 モチーフを通して読み解くデッサンをしよう

モチーフを組み合わせ、自身の考えを表現しよう！本授業では、大学が用意した数種類のモチーフから、自分の考えに即したモチーフを任意に選び描きます。出されたモチーフから何が重要なかを自分なりに考察し、答えを導き出しましょう！難しく考える必要はありません。誰もが日常の中で、様々な経験をしています。これまでの生活の中から答えを見つけ出して、デッサンを通じて表現してみましょう。

##### 評価ポイント

- 1) 画面の構成力
- 2) モチーフの表現力
- 3) 作品で自分の考えを伝える力

##### 体験授業と合わせて実施する選考

教員と対面で面談をし、志望動機や作品の意図を述べてもらいます。また、授業内での対話の中でもその考え方をみていきます。

##### 評価ポイント

- 1) 質問に対して明確に述べるができるか
- 2) 作品のねらい、意図を述べるができるか
- 3) 向上心と探究心があるか
- 4) 体系的に物事を考える力があるか

#### 2期 色彩で自分の情景を描こう！

情景とは「人の心を動かす風景や場面」のことです。色は、人の心を動かす不思議な力を持っています。そんな様々な色を使って、モチーフを情景的に表現しよう！本授業では、鉛筆だけではなく、パステルやコンテ、水彩絵具、色鉛筆を自由に使ってモチーフを描きます。下書きをせずに色を使って絵を描き始めても構いません。自分の好きな色について考察し、モチーフと画面に向かい合ってみましょう。

##### 評価ポイント

- 1) 画面の構成力
- 2) モチーフの表現力
- 3) 作品で自分の考えを伝える力
- 4) 色彩表現が豊かであるか

##### 体験授業と合わせて実施する選考

教員と対面で面談をし、志望動機や作品の意図を述べてもらいます。また、授業内での対話の中でもその考え方をみていきます。

##### 評価ポイント

- 1) 質問に対して明確に述べるができるか
- 2) 作品のねらい、意図を述べるができるか
- 3) 向上心と探究心があるか

持参物・服装

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)  
デッサン用具一式(例:鉛筆[6H-6B]、カッターナイフ、ねり消しなど)

**服装** 汚れてもよい服装、動きやすい服装

※土足厳禁の室内で試験を行うので、必要な場合は室内靴持参のこと

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)  
彩色道具一式(パステル、コンテ、水彩絵具、色鉛筆など)、筆洗、布巾など、自身の制作に必要な画材  
※こちらでも取り揃えていますが普段使いの画材があればお持ちください

**服装** 汚れてもよい服装、動きやすい服装

※土足厳禁の室内で試験を行うので、必要な場合は室内靴持参のこと

美術工芸学科 油画コース

1期 挑戦したい描画材で自画像を描こう

自画像は多くの画家が取り組んできたモチーフです。鏡に映った自分と向き合い、改めて観察し、感じたことをどのようにすれば相手に伝えられるのか。下絵で構図を検討した後、油彩、アクリル、デッサン(鉛筆や木炭)から自分の挑戦したい描画材を選択して描きます。制作ポイントも授業で伝えますので、経験が浅くても心配ありません。講習会では、今後の課題を考えるきっかけを得ることもできます。まずは失敗を恐れずに描いてみましょう。

評価ポイント

- 1) 観察をもとに描写できているか
- 2) 視点や表現に工夫ができていないか
- 3) 主体的に制作に取り組んでいるか
- 4) 継続的に試行錯誤できているか

体験授業と合わせて実施する選考

制作中の作品を持ち寄りグループで面談を行います。

評価ポイント

- 1) 質問に対して適切に回答できるか
- 2) 制作中の作品について問題意識を持ち客観的に述べられるか
- 3) ひらかれた好奇心を持ち主体的に考えることができているか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)  
 油彩の場合 | 油彩用具一式  
 アクリルの場合 | アクリル用具一式  
 鉛筆デッサン・木炭デッサンの場合 | デッサン用具一式(鉛筆または木炭(併用可)、練り消しゴムなど)

以下の用具は大学で準備します。  
 油彩・アクリル | キャンバス  
 鉛筆デッサン | 画用紙、カルトン、目玉クリップ  
 木炭デッサン | MBM木炭紙、下敷き用紙、カルトン、目玉クリップ  
 ※エントリー時に支持体を選択してください。□キャンバス(油彩またはアクリル) □画用紙(鉛筆デッサン) □MBM木炭紙(木炭デッサン)

服装 汚れてもよい服装

2期 挑戦したい描画材で静物を描こう

静物をモチーフに、観察しながら感じたこと・気付いたことを表現します。構図とかたち、トーンのバランスを探りながら気付きや感動を絵にしてみましょう。油彩、アクリル、デッサン(鉛筆や木炭)から挑戦したい描画材を選択して描きます。トリミングや制作のポイントも授業で伝えますので、経験が浅くても心配ありません。講習会では、みなさん全員の表現の工夫や今後の課題を共有します。絵を描くこと、学ぶことの楽しさを体験しましょう。

評価ポイント

- 1) 観察をもとに描写できているか
- 2) 視点や表現に工夫ができていないか
- 3) 主体的に制作に取り組んでいるか
- 4) 継続的に試行錯誤できているか

体験授業と合わせて実施する選考

制作中の作品を持ち寄りグループで面談を行います。

評価ポイント

- 1) 質問に対して適切に回答できるか
- 2) 制作中の作品について問題意識を持ち客観的に述べられるか
- 3) ひらかれた好奇心を持ち主体的に考えることができているか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)  
 油彩の場合 | 油彩用具一式  
 アクリルの場合 | アクリル用具一式  
 鉛筆デッサン・木炭デッサンの場合 | デッサン用具一式(鉛筆または木炭(併用可)、練り消しゴムなど)

以下の用具は大学で準備します。  
 油彩・アクリル | キャンバス  
 鉛筆デッサン | 画用紙、カルトン、目玉クリップ  
 木炭デッサン | MBM木炭紙、下敷き用紙、カルトン、目玉クリップ  
 ※エントリー時に支持体を選択してください。 □キャンバス(油彩またはアクリル) □画用紙(鉛筆デッサン) □MBM木炭紙(木炭デッサン)

服装 汚れてもよい服装

美術工芸学科 写真・映像コース

1期 写真集制作  
- 編集による表現について考える

写真と映像表現に共通するのは、バラバラのイメージ同士が連なって関係する姿です。写真を1枚で見るのと複数の連なりで見るとは鑑賞者が受け取る印象が大きく異なります。普段のように写真や映像を見ているのかを考えながら、イメージを連ねるグループワークを行い、受験生同士が対話を重ね、イメージの組み合わせの中で起こる意味や形の変化について考えます。最終的には一人ずつ与えられた写真を編集し写真集にまとめる制作を行い、1日の中での気づきを文章にすることを通して、今後の制作に繋がる力を養います。

評価ポイント

- 1) 写真集という形式のなかで、複数のイメージについて考えながら写真を構成することができる
- 2) 他者と協働し、自分以外の視点について気づくことができる
- 3) 基本的な文章力があり、構造的な文章の組み立てができる

体験授業と合わせて実施する選考

人物や個性、本コースで学び成長することができるかを評価する面談を行います。自分自身の言葉で語ってください。

評価ポイント

- 1) 質問を的確に理解し、対話ができる力
- 2) 考えや思いを自分の言葉で伝える力
- 3) 大学での学びに対しての意欲

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳、はさみ、カッター、直線定規(30cm以内)

2期 コラージュ  
- 切断と接合について考える

私達は日々、写真や映像表現に接しています。何気なく接しているこれらのイメージは、場面の切り取りと繋がりによって表現されていることがほとんどです。この授業では個々がコラージュ制作を行った後、グループに分かれて成果物を前に対話を重ねます。コラージュによるイメージの切断と接合がどのように起こり、写されたモチーフの意味や形の印象がどのように変化していくのか、他者とともに考え、自分以外の視点についても深く考える機会とします。最終的には1日の中での気づきを文章にし、今後の制作に繋がる力を養います。

評価ポイント

- 1) 複数のイメージを組み合わせて、新たな造形や意味を作り出すことができる
- 2) 他者と協働し、自分以外の視点について気づくことができる
- 3) 基本的な文章力があり、構造的な文章の組み立てができる

体験授業と合わせて実施する選考

人物や個性、本コースで学び成長することができるかを評価する面談を行います。自分自身の言葉で語ってください。

評価ポイント

- 1) 質問を的確に理解し、対話ができる力
- 2) 考えや思いを自分の言葉で伝える力
- 3) 大学での学びに対しての意欲

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳、はさみ、カッター、直線定規(30cm以内)

体験授業内容

持参物・服装

体験授業内容

持参物

美術工芸学科 染織テキスタイルコース

1期 染織技法とテキスタイルデザイン①  
—型友禪による文様構成—

型友禪には、文様の配置や重なりで画面を構成する「テキスタイルデザイン」の視点が備わっています。型紙の反復が生むリズムや色彩の強弱は、まさに布の上で文様を組み立てるデザインのプロセスそのものです。本授業ではブロの道具を用い、文様が浮かび上がる染色の醍醐味を体験します。素材や歴史をデザインの視点で紐解く導入講義も実施します。技法の論理を学び、入学後のクリエイティブな日常をイメージしましょう。

評価ポイント

- 1) 作業全体の工程や技法における決まりごとを理解し作業できるか
- 2) 出来上がりをイメージして手を動かし、表現するための試行錯誤ができるか
- 3) 技法において重要な道具の準備や作業場の片付けに能動的に取り組むことができるか
- 4) 全体を通して積極的に取り組み、適切な質疑応答ができるか

体験授業と合わせて実施する選考

教員との面談を通して制作や自身について対話をします。

評価ポイント

- 1) 質問を理解し、自分の言葉で対話できるか
- 2) 大学での学びや制作に対し主体的な姿勢であるか
- 3) 制作プロセスへの興味、探究心があるか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)  
2B以上の鉛筆、30cm程度の直線定規

服装 汚れてもよい服装、動きやすい服装  
スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

2期 染織技法とテキスタイルデザイン②  
—糸素材によるタペストリー—

羊毛や綿などの素材に向き合い、糸の質感や立体感から構成を探究することは、テキスタイルデザインの重要なプロセスです。本授業では専門道具「ハンドフックマシン」で糸を打ち込み、文様を組み立てることで、平面が豊かな表情に変わる面白さを体験しましょう。また、タペストリーの歴史を紐解く講義も実施します。技法と表現の繋がりを学び、素材との対話から形を模索するプロセスを通じ、入学後のクリエイティブな日常を鮮明にイメージしましょう。

評価ポイント

- 1) 作業全体の工程や技法における決まりごとを理解し作業できるか
- 2) 出来上がりをイメージして手を動かし、表現するための試行錯誤ができるか
- 3) 技法において重要な道具の準備や作業場の片付けに能動的に取り組むことができるか
- 4) 全体を通して積極的に取り組み、適切な質疑応答ができるか

体験授業と合わせて実施する選考

教員との面談を通して制作や自身について対話をします。

評価ポイント

- 1) 質問を理解し、自分の言葉で対話できるか
- 2) 大学での学びや制作に対し主体的な姿勢であるか
- 3) 制作プロセスへの興味、探究心があるか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)  
2B以上の鉛筆、ハサミ、色鉛筆、30cm程度の直線定規

服装 動きやすい服装

美術工芸学科 総合造形コース

1期 あなたのイメージしたストーリーから  
オブジェクトを制作しよう！

この授業では、与えられたテーマからイメージを拡げ、粘土を主とした素材で作品制作を行います。あなたが想像する作品の世界観、背景など、思慮を深く張り巡らせ、素材の特性を活かし創造してみましょう。また、作品に込めた想いを他者へ伝えるためには、展示方法やプレゼンテーションにも工夫が必要です。発想、構想、イメージの具現化、他者に伝えるまでを実践的に体験しながら学びます。

評価ポイント

- 1) 自身の考えのもとに前向きに取り組んでいるか
- 2) 視点や表現に工夫ができてきているか
- 3) 制作物を他者に伝えようとする姿勢があるか

体験授業と合わせて実施する選考

グループ面談を実施します。

評価ポイント

- 1) 自身の強みや将来の目標を自分の言葉で伝えることができるか
- 2) 質問を理解し応答ができてきているか
- 3) 大学での学びに対して積極的な姿勢を持っているか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)  
ノート、粘土ペラー式、ペンチ、手拭きタオル

服装 汚れてもよい服装、動きやすい服装、  
スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

2期 自分の顔を知ろう！  
彫塑によるレリーフ制作

自分の顔ってどんな顔？見ているようで見えない自分の顔を、レリーフ(半立体)で制作します。まずは写真や鏡に映った姿から観察し、平面だけでは理解できない特徴を知るために、自らの手で何度も自分の顔を触ってみます。写真や鏡からだけでは感じることのできない凸凹を粘土で再現してみましょう。顔の基本的な造形要素を学びながら、客観的な目線で制作に挑戦してみてください。きっと今まで気付かなかったことが発見できます。

評価ポイント

- 1) 授業内容を正しく理解し実行することができるか
- 2) 観察をもとに積極的に制作に取り組んでいるか
- 3) 自身の考えのもとにディテールや粘土の肉付けがされているか

体験授業と合わせて実施する選考

グループ面談を実施します。

評価ポイント

- 1) 自身の強みや将来の目標を自分の言葉で伝えることができるか
- 2) 質問を理解し応答ができてきているか
- 3) 大学での学びに対して積極的な姿勢を持っているか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、ノート、粘土ペラー式、デッサン用筆記具(鉛筆各種 H-3B 程度)、手拭きタオル

服装 汚れてもよい服装、動きやすい服装、  
スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

体験授業内容

持参物・服装

体験授業内容

持参物・服装

美術工芸学科 アートプロデュースコース

1期 はじめてのアートプロデュース①  
かけあわせて展覧会をつくろう

この授業では、アートプロデュースの手法を学んだ上で、受験生自身が小規模な展覧会を企画・実施します。題材を多角的に観察・分析し、他の受験生との協働や複数の要素を意図的に「かけあわせる」ことで、新しい視点を持つ企画を立案します。そのコンセプトを展覧会として具体化し、他者や社会に与える価値を他の人たちに伝えることで、日常的なものが工夫による「かけあわせ」で人々の関心や共感を呼ぶ「アートの力」を体得することを目指します。

評価ポイント

- 1) 探究力：課題を様々な角度で捉え、論理的に考えられる
- 2) 想像力：他者の考えや社会で起きていることを自身の考えと接続できる
- 3) 創造力：思考やアイデアを具体的に形にすることで的確に他者に伝えられる

体験授業と合わせて実施する選考

授業内容をふりかえる個人レポートと、大学における主体的な学びの意欲を確かめる面談を実施します。

評価ポイント

- 1) アートプロデュースに対する意欲を持っているか
- 2) 授業内容の意義や興味関心を言葉で説明できているか
- 3) 大学での学びに主体的であるか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)

服装 動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

2期 はじめのアートプロデュース②  
小さな展覧会を企画してみよう

この授業では、アートプロデュースの考え方を学び、教室という身近な空間で小規模な展覧会を企画・実施します。題材を多角的に観察し、受験生同士の協働を通じて企画を立案、それを展覧会として具体化します。教室という日常的な空間を、工夫と技術によって新たな展示会場へと変え、他の人たちを案内・意図を伝えることで、そこに新たな意味や価値を見出します。工夫と技術によって人々の関心や共感を生み出す「アートの力」を身につけてください。

評価ポイント

- 1) 探究力：課題を様々な角度で捉え、論理的に考えられる
- 2) 想像力：他者の考えや社会で起きていることを自身の考えと接続できる
- 3) 創造力：思考やアイデアを具体的に形にすることで的確に他者に伝えられる

体験授業と合わせて実施する選考

授業内容をふりかえる個人レポートと、大学における主体的な学びの意欲を確かめる面談を実施します。

評価ポイント

- 1) アートプロデュースに対する意欲を持っているか
- 2) 授業内容の意義や興味関心を言葉で説明できているか
- 3) 大学での学びに主体的であるか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)

服装 動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

美術工芸学科 文化財保存修復・歴史遺産コース

1期 京都の歴史・芸術に触れ、  
文化財保存修復の意義を考える

文化財には、それらが作られた時代の文化が反映されています。物言わぬ文化財から、私たちはいかにして歴史文化を読み取ることができるでしょうか？まずミニ講義において、先人が残してくれた日記や手紙、屏風や掛け軸のほか、石造物や建造物など文化財の種類や特徴について学びます。次に実際に寺院を訪れてさまざまな文化財を観察し(フィールドワーク)、これらがもつ語る歴史文化や文化財の劣化状況について読み解いていきます。そして読み解きから判明した文化財保存修復の意義について、グループに分かれてディスカッションを行います。  
※学外へのフィールドワークを行います。各自、体調管理(十分な睡眠・当日の朝食摂取等)を徹底したうえで、熱中症対策を十分に行い受講をお願いします。

評価ポイント

- 1) ミニ講義の要点を的確に理解することができるか(理解力)
- 2) 歴史資料に興味を持ち、そこから情報を得ることができるか(行動力)
- 3) グループワークにおいて、積極的に発言するとともに、他者の意見を傾聴し理解することができるか(コミュニケーション力)

体験授業と合わせて実施する選考

授業内容をふりかえる個人レポートと、大学における主体的な学びの意欲を確かめる面談(グループまたは個別)を実施します。

評価ポイント

- 1) 歴史遺産の調査・保存修復・活用に対する意欲を持っているか(探究力)
- 2) 授業内容の意義や興味関心を日本語による文章で的確に表現することができるか(論理的思考・文章表現力)
- 3) 大学での学びに主体的であるか(継続力)

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳、熱中症対策のための帽子や日傘、タオル、飲料水、冷却グッズ(ハンディファンやクールリング)

服装 汚れてもよい服装、動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

2期 文化財が語る、京都の歴史文化を探る

千年の都と称される京都には数多くの文化財があります。本授業では、まずミニ講義を通して京都の歴史・芸術文化の特徴を学びます。次に実際に歴史的建造物を訪れてその意匠や技術などを観察し、感じ考えたことを記録します(フィールドワーク)。さらに、その歴史文化を後世に伝えるために必要なことは何かについて、グループに分かれてディスカッションを行います。  
※学外へのフィールドワークを行います。各自、体調管理(十分な睡眠・当日の朝食摂取等)を徹底したうえで、熱中症対策を十分に行い受講をお願いします。

評価ポイント

- 1) ミニ講義の要点を的確に理解することができるか(理解力)
- 2) フィールドワークにおいて、積極的に鑑賞・観察を行うことができるか(行動力)
- 3) グループワークにおいて、積極的に発言するとともに、他者の意見を傾聴し理解することができるか(コミュニケーション力)

体験授業と合わせて実施する選考

授業内容をふりかえる個人レポートと、大学における主体的な学びの意欲を確かめる面談(グループまたは個別)を実施します。

評価ポイント

- 1) 歴史遺産の調査・保存修復・活用に対する意欲を持っているか(探究力)
- 2) 授業内容の意義や興味関心を日本語による文章で的確に表現することができるか(論理的思考・文章表現力)
- 3) 大学での学びに主体的であるか(継続力)

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳、熱中症対策のための帽子や日傘、タオル、飲料水、冷却グッズ(ハンディファンやクールリング)

服装 汚れてもよい服装、動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

体験授業内容

持参物・服装

体験授業内容

持参物・服装

キャラクターデザイン学科 キャラクターデザインコース

1期 世界を創ろう！  
そこに息づくキャラクターをデザインしよう！

生きているキャラクターとは一体何なのでしょう？私たちと同じようにキャラクターも喜怒哀楽さまざまな感情や葛藤を通して過ごしています。本授業では、与えられたキーワードから自分自身を振り返り、教員からのアドバイスやグループワークを通してテーマを深めます。そこで創られた世界の中で、自らの挑戦を通して成長し、躍動するキャラクターをデザインしましょう！

評価ポイント

自分だけのテーマを掘り下げる思考力、キャラクターデザインとしてビジュアル化する発想力と表現力を評価します。  
また対話を通して、社会の様々なことに興味・関心を抱き自発的に思考する姿勢を評価します。

体験授業と合わせて実施する選考

テーマを掘り下げる思考の過程をテキスト(ワークシート1枚)でまとめ、そこからキャラクター世界のビジュアルを作成します(A4画用紙1枚)。

評価ポイント

- 1) 課題に対し、独自の視点で捉え、論理的に思考できているか
- 2) テーマを的確に伝えるべきキャラクターが描かれているか
- 3) 構図や色彩など、絵として伝わる表現になっているか

2期 日常生活を観察して、  
オリジナルキャラクターを生み出そう！

何気ない生活の中にはキャラクターをデザインするための無数のアイデアが隠れています。本授業では、与えられたキーワードから身の回りの生活を注意深く観察し、教員からのアドバイスやグループワークを通して独自の世界観を養います。こんなキャラクターが側にいたらいいな！こんなことができたらもっと生活が楽しくなるだろうな！あなたの自由な発想をキャラクターと創造世界に表現できる楽しさを体感しましょう！

評価ポイント

自分だけのテーマを掘り下げる思考力、キャラクターデザインとしてビジュアル化する発想力と表現力を評価します。  
また対話を通して、他者の考えを取り入れ、その上で自分の考えを他者に伝える姿勢を評価します。

体験授業と合わせて実施する選考

テーマを掘り下げる思考の過程をテキスト(ワークシート1枚)でまとめ、そこからキャラクター世界のビジュアルを作成します(A4画用紙1枚)。

評価ポイント

- 1) 課題に対し、独自の視点で捉えることができているか
- 2) 自分の考えを他者に伝えることができるか
- 3) 構図や色彩など、絵として伝わる表現になっているか

体験授業内容

持参物

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)  
着色道具一式(画材は自由)

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)  
着色道具一式(画材は自由)

キャラクターデザイン学科 マンガコース

1期 マンガなら描けるキミだけの世界！  
感動した瞬間から物語を創ろう

日々を振り返れば感情が動いた瞬間を見つけられるはずですが、それってすごく価値があるものだと思いますか？プロのマンガ家である教員の指導のもと、みなさんの「感情」からグループワークを通して、オリジナルの物語を考え、その中のワンシーンをマンガで表現してください。企画構成・プロットから、コマ割り・作画など本格的なマンガ制作の工程を体験してみましょう！

評価ポイント

まずはリラックスして、授業を楽しんでください！授業や面談を通して、みなさんが普段何を考えているのか、グループワークでの意見を上手に取り入れてアイデアを生み出せているかなど、みなさんの好奇心や成長への意欲を重視しています。

体験授業と合わせて実施する選考

オリジナルの物語を考えて「あらすじ」の文章を制作。  
物語のワンシーンをマンガで表現してください。

評価ポイント

- 1) 講義やグループワークを通して自分らしい物語をつくれているか
- 2) 人に伝える工夫や気遣いができているか
- 3) 見る人を惹きつける絵が描かれているか

2期 いつでもどこでもできる！  
毎日が楽しくなるネタ集めの実践法

通学途中や休日の街中など、マンガのネタとなるものは至るところに溢れています。観察の方法を覚えることで、見える世界が変わります。レクチャーを受けた後、マンガのネタを集めるために学内を散策し、スケッチを行います。そこで見たことや感じたことをグループで共有し、得られた気づきをマンガもしくはイラストで表現してください。独創的な発想も、まずは観察から。マンガのネタを掴む極意を会得しましょう！

評価ポイント

まずはリラックスして、授業を楽しんでください！授業や面談を通して、みなさんが普段何を考えているのかや、グループワークでの意見を上手に取り入れてアイデアを生み出せているかなど、みなさんの好奇心や成長への意欲を重視しています。

体験授業と合わせて実施する選考

オリジナルの物語を考えて「あらすじ」の文章を制作。  
物語のワンシーンをマンガで表現してください。

評価ポイント

- 1) 講義やグループワークを通して自分らしい物語をつくれているか
- 2) 人に伝える工夫や気遣いができているか
- 3) 見る人を惹きつける絵が描かれているか

体験授業内容

持参物

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)  
定規、腕時計  
※上記以外の使用可能用具：国語辞典、通信機能のない電子辞書  
※使用不可の用具：スクリーントーン、ペン、カメラ、携帯電話・スマートフォン

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)  
定規、腕時計  
※上記以外の使用可能用具：国語辞典、通信機能のない電子辞書  
※使用不可の用具：スクリーントーン、ペン、カメラ、携帯電話・スマートフォン

情報デザイン学科

- ビジュアルデザインコース
- イラストレーションコース
- ゲームクリエイションコース
- 映像クリエイションコース

※情報デザイン学科は、4コース共通で体験授業を行います。情報デザイン学科内でのコース併願を希望する場合は、1日の授業で最大4コースまで併願可能です。

**1期** 人が集まりたくなる企画・デザイン

身近にある公園は、遊ぶ場所としてだけでなく、年齢や目的に応じてさまざまな使い方ができる空間です。この授業では、公園の広さや自然、設備を活かし、人が集まりたくなる新しい企画やデザインを考えます。イベント、体験、サービス、グラフィックなど、表現方法は自由です。「今あまり使われていない理由」に目を向けながら、公園の新しい魅力を引き出すアイデアを考えてみましょう。

**！** 評価ポイント

次の事項を含め総合的に評価します。

- 1) 授業を受ける姿勢  
意欲的かつ真摯に取り組み、教員や他者と共感をもってコミュニケーションをとることができているか
- 2) 発想・構想力  
柔軟な発想力と論理的な思考力でアイデアを展開できているか
- 3) 理解力  
課題内容を理解した上で、企画やデザインのテーマやストーリーを見出すことができているか

体験授業と合わせて実施する選考

絵や図、文章でプレゼンテーションする企画・デザインのワークシートと自己PRシートに取り組んでもらいます。

**！** 評価ポイント

次の事項を含め総合的に評価します。

- 1) 企画  
流行・社会の動きに興味を持ち、独創的な着眼点でアイデアを企画に展開できているか
- 2) 構想  
企画や思考を具体的かつ論理的に構成させる力があるか
- 3) 表現  
視覚化や文章化により、わかりやすく魅力的にプレゼンテーションできているか

**2期** 学校の用途を変える(拡張する)企画・デザイン

使われていない「廃校」は、新しい使い方を考えることで、もう一度人が集まる魅力的な場所になる可能性を持っています。廃校という特別な場所を活かしながら、新しい企画やデザインを考えます。イベント、体験スペース、地域の人が集まる場、映像やグラフィックによる提案など、表現方法は自由です。「使われなくなった学校を、どんな場所に変えたいか？」を想像しながら、廃校の未来を明るくする企画を考えてみましょう。

**！** 評価ポイント

次の事項を含め総合的に評価します。

- 1) 授業を受ける姿勢  
意欲的かつ真摯に取り組み、教員や他者と共感をもってコミュニケーションをとることができているか
- 2) 発想・構想力  
柔軟な発想力と論理的な思考力でアイデアを展開できているか
- 3) 理解力  
課題内容を理解した上で、企画やデザインのテーマやストーリーを見出すことができているか

体験授業と合わせて実施する選考

絵や図、文章でプレゼンテーションする企画・デザインのワークシートと自己PRシートに取り組んでもらいます。

**！** 評価ポイント

次の事項を含め総合的に評価します。

- 1) 企画  
流行・社会の動きに興味を持ち、独創的な着眼点でアイデアを企画に展開できているか
- 2) 構想  
企画や思考を具体的かつ論理的に構成させる力があるか
- 3) 表現  
視覚化や文章化により、わかりやすく魅力的にプレゼンテーションできているか

体験授業内容

持参物・服装

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、使い慣れた描画用具一式  
※使用不可の用具：油絵具やスプレー塗料など匂いの強い画材、デジタル機器

**服装** 汚れてもよい服装

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、使い慣れた描画用具一式  
※使用不可の用具：油絵具やスプレー塗料など匂いの強い画材、デジタル機器

**服装** 汚れてもよい服装

プロダクトデザイン 学科 プロダクトデザインコース

1期 暮らしを豊かにする  
身近な生活の道具をデザインしてみよう！

ステーションナリーやキッチンウエア、IoT機器など身近な道具はその様にデザインされているのでしょうか？プロのデザイナーの仕事や考え方を学んでみましょう！デザインには、アイデアの発想の方法、カタチの展開の方法など様々なスキルやメソッドを使います。今回の体験授業では、それらを学びながらグループでリサーチやアイデアの検討を行い、個人でスケッチやモデルの制作をしながら、あなたのオリジナルのデザインを考えましょう。

！ 評価ポイント

- 1) 表現・コミュニケーション力(行動力) :  
自分の考えを他者に伝わるよう自分なりに表現できているか
- 2) 発想・構想力：リサーチ結果や他者との  
コミュニケーションを通してアイデアを多く展開できているか
- 3) 観察力(探究心)：リサーチを幅広く行うと共に、  
様々な視点で物事を見て論理的に分析できているか

体験授業と合わせて実施する選考

プロセスを通してワークシートを順に制作して、最後にモデルと一緒にプレゼンテーションを行います。

！ 評価ポイント

体験授業を通して、プロセスをワークシートにまとめていきます。制作したモデルのプレゼンテーションや面談、ワークシートを総合的に判断し評価を行います。

体験授業内容

持参物

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、黒色の太めのマジックペンまたはサインペン(色は黒色のみ、カラーペンは使用不可)、色鉛筆(12〜24色程度)、鉛筆けずり、カッター、はさみ、のり、コンパス、三角定規(30cm程度)、定規(30cm程度、カッターでの切断時にも使用)

2期 生活を豊かにする  
身近な日用雑貨をデザインしてみよう！

我々の身の回りにある文房具や家電、キッチン用品、自動車などの製品はプロダクトデザイナーがデザインしています。プロのデザイナーの仕事や考え方を学んでみましょう！デザインには、アイデアの発想の方法、カタチの展開の方法など様々なスキルやメソッドを使います。今回の体験授業では、それらを学びながらグループでリサーチやアイデアの検討を行い、個人でスケッチやモデルの制作をしながら、あなたのオリジナルなデザインを考えましょう。

！ 評価ポイント

- 1) 表現・コミュニケーション力(行動力) :  
自分の考えを他者に伝わるよう自分なりに表現できているか
- 2) 発想・構想力：リサーチ結果や他者との  
コミュニケーションを通してアイデアを多く展開できているか
- 3) 観察力(探究心)：リサーチを幅広く行うと共に、  
様々な視点で物事を見て論理的に分析できているか

体験授業と合わせて実施する選考

プロセスを通してワークシートを順に制作して、最後にモデルと一緒にプレゼンテーションを行います。

！ 評価ポイント

体験授業を通して、プロセスをワークシートにまとめていきます。制作したモデルのプレゼンテーションや面談、ワークシートを総合的に判断し評価を行います。

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、黒色の太めのマジックペンまたはサインペン(色は黒色のみ、カラーペンは使用不可)、色鉛筆(12〜24色程度)、鉛筆けずり、カッター、はさみ、のり、コンパス、三角定規(30cm程度)、定規(30cm程度、カッターでの切断時にも使用)

プロダクトデザイン 学科 クロステックデザインコース

1期 これからの「エンタメビジネス」を考えよう

音楽、ゲーム、アニメ、テーマパーク、イベントなど、新しいエンタメビジネスが次々と生まれている今、クロステックデザインコースの「クリエイティブ(企画やデザインの力で)×テクノロジー(新旧の技術を組み合わせる)×ビジネス(どのようにお金を生み出して持続可能な仕組みを作るか)」の3つの視点を組み合わせ、次の「エンタメビジネス」の創造を体感する授業を実施します。

！ 評価ポイント

- 1) 授業での学びや気づきを、体系的に整理し分析できているか
- 2) 提案内容に、具体性があるか
- 3) 内容の一部にでも、自身の独自の視点や考察が見られるか

体験授業と合わせて実施する選考

提示された課題に対して情報を集め、身のまわりを観察し、企画を考え発表するグループワークを実施します。

！ 評価ポイント

- 1) 他者(教員や他の受験生)の意見を真摯に受け止め、そこから発想を広げることができるか
- 2) 自身の経験や価値観だけではなく、情報を集め、多角的な視点をもとに考察することができるか
- 3) 拡散したアイデアを具体的な人や場面を想定して、提案としてまとめることができるか

体験授業内容

持参物

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳

2期 日常に溶け込む、これからの防災企画

近年、世界的な情勢不安や災害などの頻発で、防災や避難に対する意識が高まっています。本授業では、新しい発想をクロスして、シリアスなテーマを身近で考えやすくなる企画を考えてみましょう。  
・クリエイティブ：どんな機能やデザインがあると日常に溶け込みやすいかを考える。  
・テクノロジー：センサーや通信技術の応用など、技術面をリサーチする。  
・ビジネス：持続可能な企画として普及のための戦略をセットで考える。

！ 評価ポイント

- 1) 授業での学びや気づきを、体系的に整理し分析できているか
- 2) 提案内容に、具体性があるか
- 3) 内容の一部にでも、自身の独自の視点や考察が見られるか

体験授業と合わせて実施する選考

提示された課題に対して情報を集め、身のまわりを観察し、企画を考え発表するグループワークを実施します。

！ 評価ポイント

- 1) 他者(教員や他の受験生)の意見を真摯に受け止め、そこから発想を広げることができるか
- 2) 自身の経験や価値観だけではなく、情報を集め、多角的な視点をもとに考察することができるか
- 3) 拡散したアイデアを具体的な人や場面を想定して、提案としてまとめることができるか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳

1期 ソーシャルデザイン入門①わがまちミュージアム

社会へとつながる自分のデザインを発見するために、つくるだけではなく、レクチャーの後に、考察、作品制作、発表というデザインの基本過程に取り組みます。テーマとするわがまちの魅力を「自分の視点」で発見し、それをミュージアムという小さな空間作品として制作します。普通のことでもデザインによって価値のあるものに変えていく考え方や、素敵な体験を空間にしていける手法を学び、まちの魅力をさらに上げていくことを目指します。また、発表を共有し「他者の共感」も得られるようになります。

評価ポイント

- 1) 授業に意欲的かつ誠実に取り組み、教員や他者と共感をもってコミュニケーションをとることができるか
- 2) レクチャーの内容を理解し、自分の考察を的確に論じることができるか
- 3) 課題内容を理解した上で、「自分の視点」からテーマやストーリーをつることができるか
- 4) テーマやストーリーを活かし、見る人にまちの魅力がより良く伝わる、工夫ある制作物をつることができるか
- 5) 制作物の魅力が他者に伝わるように発表することができるか

体験授業と合わせて実施する選考

人物を総合的に評価するために、制作物の評価のみではなく、エントリーシート(自己紹介等)の記入と併せて面談を行います。

評価ポイント

- 1) 本学科の学修内容に対する理解度と、その学修と成長へ向けた意欲・意志
- 2) 高等学校等での学習姿勢や成果、課外や自主的な活動などの行動力や主体性
- 3) 社会や周囲のことを考えて発言し、他者と協力して活動できる社会性
- 4) 自己主張だけでなく、客観的に説明できるコミュニケーション力

2期 ソーシャルデザイン入門②わがまちショップ

社会をより良く変えていくためのデザインの授業です。地域には、人がまだ気づいていない魅力を発見し、うまく活かすためのデザインが必要です。レクチャーの後に、考察文、作品制作、発表というデザインの基本過程に取り組み、「自分の視点」でわがまちの魅力を発見し、それをアピールできるショップを空間作品として制作します。まちの特色を空間で伝えるためのストーリーづくりが、人を感動させ、身近な社会の変化を生む決め手となることを学びます。

評価ポイント

- 1) 授業に意欲的かつ誠実に取り組み、教員や他者と共感をもってコミュニケーションをとることができるか
- 2) レクチャーの内容を理解し、自分の考察を的確に論じることができるか
- 3) 課題内容を理解した上で、「自分の視点」からテーマやストーリーをつることができるか
- 4) テーマやストーリーを活かし、見る人にまちの魅力がより良く伝わる、工夫ある制作物をつることができるか
- 5) 制作物の魅力が他者に伝わるように発表することができるか

体験授業と合わせて実施する選考

人物を総合的に評価するために、制作物の評価のみではなく、エントリーシート(自己紹介等)の記入と併せて面談を行います。

評価ポイント

- 1) 本学科の学修内容に対する理解度と、その学修と成長へ向けた意欲・意志
- 2) 高等学校等での学習姿勢や成果、課外や自主的な活動などの行動力や主体性
- 3) 社会や周囲のことを考えて発言し、他者と協力して活動できる社会性
- 4) 自己主張だけでなく、客観的に説明できるコミュニケーション力

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、ノート、太めのマジックペン1色(色は自由)、カッターナイフ、はさみ、金尺(30cm)、のり、マスキングテープ、着彩道具一式

※上記以外の持参可能物：自分の制作で使いたい材料(色紙や紙粘土など500円まで。持参しなくても制作可能)

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、ノート、太めのマジックペン1色(色は自由)、カッターナイフ、はさみ、金尺(30cm)、のり、マスキングテープ、着彩道具一式

※上記以外の持参可能物：自分の制作で使いたい材料(色紙や紙粘土など500円まで。持参しなくても制作可能)

体験授業内容

持参物

空間演出デザイン学科 ファッションデザインコース

1期 ファッションデザイン入門  
地域の特性を活かしたファッション①

紙を使って、あなたの住んでいる地域の魅力を他者にPRするファッションアイテムを制作します。ここで大切なのは、完成した作品のクオリティだけでなく、その作品の制作に至るまでのプロセスと着眼点、そのモノは社会にどんな変化を起こすことができるのかということです。あなたが提案するファッションで、人が生きる環境にどんな変化を起こすことができるかを体験してみましょう。

評価ポイント

- 1) 制作の際に自分の考えたことだけでなく、教員のアドバイスを柔軟に取り入れ、積み上げて考えることができるか
- 2) リサーチした内容から適切な地域課題を見つけ、制作にうまく活用できるか
- 3) 自分の考えを他者にも理解される形でプレゼンテーションできるか
- 4) 自分の考えを的確に文章にまとめることができるか

体験授業と合わせて実施する選考

人物を総合的に評価するために、制作物の評価のみではなく、エントリーシート(自己紹介等)の記入と併せて面談を行います。

評価ポイント

- 1) 本学科の学修内容を理解し、志望動機を明確に説明できるか
- 2) これまでの学習姿勢や成果、行動力や主体性を持った活動などの説明ができるか
- 3) 本学科で学んだ先にある将来の目標を説明できるか
- 4) 社会や周囲のことなどを考えて発言し、他者と協力して活動できる社会性があるか

体験授業内容

持参物

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、カッターナイフ、はさみ、定規、のりやテープなど接着できるもの、ホッチキス、着彩道具一式

2期 ファッションデザイン入門  
地域の特性を活かしたファッション②

自分が毎日過ごしている場所は何もなさそうに感じてしまいます。しかし改めてよく観察してみると、違和感や課題が隠れています。そうした身近な課題を起点に、解決のためのアイデアを考え、紙を素材としたファッションアイテムをデザインしてみましょう。アイデアによって地域社会がどのように変わっていくかを教員との対話から想像していきます。制作を通してファッション領域の幅広さを感じてください。

評価ポイント

- 1) 制作の際に自分の考えたことだけでなく、教員のアドバイスを柔軟に取り入れ、積み上げて考えることができるか
- 2) リサーチした内容から適切な地域課題を見つけ、制作にうまく活用できるか
- 3) 自分の考えを他者にも理解される形でプレゼンテーションできるか
- 4) 自分の考えを的確に文章にまとめることができるか

体験授業と合わせて実施する選考

人物を総合的に評価するために制作物だけでなく、エントリーシート(自己紹介等)の記入と併せて面談を実施します。

評価ポイント

- 1) 本学科の学修内容を理解し、志望動機を明確に説明できるか
- 2) これまでの学習姿勢や成果、行動力や主体性を持った活動などの説明ができるか
- 3) 本学科で学んだ先にある将来の目標を説明できるか
- 4) 社会や周囲のことなどを考えて発言し、他者と協力して活動できる社会性があるか

体験授業内容

持参物・服装

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、はさみ、カッターナイフ ※使用不可の用具：着彩用具一式(色鉛筆、マーカー、絵の具など)

服装 動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダルは不可)

環境デザイン学科 建築・インテリア・環境デザインコース

1期 あたりのカタチ

環境はさまざまな大きさ小ささから成り立っています。自然物を収集し、そのスケール(縮尺)や属性を自由に見立て、そのモノの周辺空間と人との関係を与えられた素材で表現します。難しく感じるかも知れませんが、さまざまな縮尺の人型模型も使いますので、自分がその人型の大きさになって想像すればさまざまなことを思い描くことができます。まちや都市の公園から、家具やギャラリー空間まで、スケールを横断するみなさんの想像力および三次元的な空間構成力に期待します。冒頭に行くスケールに関するレクチャーのミニレポートも、作成します。

評価ポイント

- 1) 与えられた条件を把握し、手を動かしながら考え、空間に展開しようとしているか
- 2) 助言を受け入れ、柔軟に成果物に反映させようとしているか
- 3) 基礎的なコミュニケーション能力と表現力があるか
- 4) ミニレポートにおいて言語力、思考力、聴く力、まとめる力があるか

体験授業と合わせて実施する選考

制作に関する面談と、みなさん自身に関する面談の2種類を実施します。

評価ポイント

- 1) 質問に対して的確に自身の考えをまとめて話すことができるか
- 2) コミュニケーションを双方向的に行うことができるか
- 3) 制作時の面談では、助言を受け入れ、柔軟に成果物に反映させようとしているか

2期 ひかりのカタチ

環境に表情を与えるのは光です。今回の授業では、光がつくる線や面、光と影、反射や透過など、光の効果を魅せるカタチを制作します。与えられた素材で、自分なりの表現に挑戦してください。素材の特性や可能性を引き出すこと、またスケール感覚は設計の重要なポイントです。この光でシーンがどう良くなるか考えつつ、試行錯誤を楽しみながら制作してみてください。冒頭に行く光に関するレクチャーのミニレポートも、作成します。

評価ポイント

- 1) 与えられた条件を把握し、手を動かしながら考え、空間に展開しようとしているか
- 2) 助言を受け入れ、柔軟に成果物に反映させようとしているか
- 3) 基礎的なコミュニケーション能力と表現力があるか
- 4) ミニレポートにおいて言語力、思考力、聴く力、まとめる力があるか

体験授業と合わせて実施する選考

制作に関する面談と、みなさん自身に関する面談の2種類を実施します。

評価ポイント

- 1) 質問に対して的確に自身の考えをまとめて話すことができるか
- 2) コミュニケーションを双方向的に行うことができるか
- 3) 制作時の面談では、助言を受け入れ、柔軟に成果物に反映させようとしているか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、はさみ、カッターナイフ ※使用不可の用具：着彩用具一式(色鉛筆、マーカー、絵の具など)

映画学科 映画製作コース

1期 短篇映画製作体験『見つめる 耳をそばだてる』

会場内をグループに分かれてくまなく歩き(ロケハン)、各自が発見した気になる何か(見つめたり、耳をそばだてたくなるもの)を決め、レクチャーを受けた機材を使って撮影し、一本の短篇映画を製作します。完成後は、作品を上映し、感想や意見交換を行います。教員が総出でみなさんをサポートしますので、初めての方もぜひ挑戦してみてください。

評価ポイント

- 1) カメラやマイクを通して、世界を見つめたり、耳をそばだてたりする観察力
- 2) 世界のなかの何を良いと感じるのか、自分なりの思考力、発想・構想力を持っているか
- 3) 他者との作業に必要な相手への想像力、お互いの意思を伝え合うコミュニケーション能力

体験授業と合わせて実施する選考

映画撮影から上映、意見交換までの体験授業で、自分が発見したことや、他者との作業で感じたことをレポートにまとめます。

評価ポイント

- 1) 体験授業を受けて感じたこと、考えたことを振り返ることができるか
- 2) 映画の基本である「観察すること」をどう捉えたか
- 3) 自分の中で論理を組み立て、文章として表現できるか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳、ノート  
飲み物(炎天下に出ることも考えられます)  
※メモ帳、飲み物などを入れるサコッシュ・ウェストポーチなど身につける小さなバッグ(必須ではありませんが、撮影時は両手が空くと便利です)

服装 汚れてもよい服装、動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)、帽子などの日除け(炎天下に出ることも考えられます)

2期 映画を観よう!  
『映画の面白さを見つける。魅力を伝える』

映画批評についての入門的なレクチャーを最初に受けてもらったうえで全員で映画を鑑賞し、まずは「作品を構成する諸要素(お話、人物、カメラワークなど)」を意識するための「分析シート」を作成、受験生同士で意見交換してもらいます。さらに「作品の面白さはどこにあるのか?」「その魅力をどう効果的に伝えるか?」を念頭に文章(批評文)を書いてもらい、各々にその内容や成果を発表してもらいます。

評価ポイント

- 1) 映画作品の魅力を意欲的に発見することのできる鑑賞力や分析力、感受性
- 2) 映画作品の魅力をまとめ、伝えることのできる発想力、構想力、表現力
- 3) 他の受験生や教員とのあいだで意見交換できるコミュニケーション能力や積極性

体験授業と合わせて実施する選考

鑑賞した映画の「面白かった箇所」について、「人に伝わる言葉」をさがしながら意見交換します。

評価ポイント

文章を作成する前に、鑑賞した映画について他の受験生や教員と意見を交換し合う過程でのコミュニケーション能力や積極性。自分の考える映画の魅力を発表する際の表現力。

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳、ノート

映画学科 俳優コース

1期 俳優体験 脚本を読んで創造  
『台詞から登場人物を作り上げよう』

複数のチームに別れ、ト書きのない1シーンの映画の脚本を読み、どのような映画なのか考察します。各登場人物のキャラクターを各々が創造し、受験生同士で話し合い、俳優の視点、演技をするという過程で映画を創作し、演じるという形で全体に発表をおこないます。発表後、演じた役の一部を撮影し、映像演技について意見交換などをします。(体験授業型は授業です。演技に取り組む意欲、授業への集中力を評価します)

評価ポイント

- 1) 脚本から登場人物の背景を創造する力、演技者として創造する力、創造における独自性
- 2) 創造した登場人物の心理を、表情や身体、声を使って現出させる表現力
- 3) 人と話し合い、協力しながら共同作業ができるコミュニケーション力

体験授業と合わせて実施する選考

授業のはじめに、受験生全員の前で、30秒程度の自己紹介をしていただきます。他者に自分を伝えてください。

評価ポイント

- 1) 他者に伝える事について考えることができたか
- 2) 考えや思いを自分の言葉で伝えることができたか
- 3) 自分の得意な事柄や強みを言えたか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳  
飲み物(演技で身体を一日中動かすため)

服装 動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

2期 俳優体験 脚本を読んで創造  
『脚本を読んで、撮影をおこなう』

複数のチームに別れ、1シーンの映画の脚本を読み、脚本からどのような映画なのか考察します。各々のチームでリハーサルをおこない、各登場人物のキャラクターを創造していきます。受験生同士で話し合い、俳優の視点、演技をするという過程で映画を創作します。リハーサルを経て撮影をおこない、撮影素材を全員で見て、意見交換をします。(体験授業型は授業です。演技に取り組む意欲、授業への集中力を評価します)

評価ポイント

- 1) 脚本から登場人物の背景を創造する力、演技者として創造する力、創造における独自性
- 2) 創造した登場人物の心理を、表情や身体、声を使って現出させる表現力
- 3) 人と話し合い、協力しながら共同作業ができるコミュニケーション力

体験授業と合わせて実施する選考

授業の最後に、授業についての自分なりの発見を、授業の感想を含め2分間、口頭で発表してください。

評価ポイント

- 1) 本日の授業を振り返って考えることができたか
- 2) 授業の中で自分なりの発見をすることができたか
- 3) 考えや思いを自分の言葉で伝えることができたか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳、飲み物(演技で身体を一日中動かすため)

服装 動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

体験授業内容

持参物・服装

体験授業内容

持参物・服装

舞台芸術学科 演技・演出コース

1期 俳優の仕事を経験しよう！-コミュニケーション編-

午前中は、相手役とのコミュニケーションに焦点を当てた「演技」を経験します。午後は、各自の希望で「演技チーム」「ダンスチーム」「歌唱チーム」に分かれます。演技チームは短い場面づくりに、ダンスチームはミュージカルを想定したダンス表現に、歌唱チームは役柄を意識した歌唱表現に挑戦します。最後は、舞台デザインコースと合同で「舞台芸術とは？」を考える授業を実施します。

評価ポイント

体験授業型はオーディションではありません、授業です。今持っている演技力や技能よりも課題に向き合う姿勢や一日を通しての成長度、発見、気付きを重視します。

体験授業と合わせて実施する選考

一日を振り返り、発見したこと、気付いたこと、学んだことをレポートにまとめます。

評価ポイント

- 1) 午前、午後のそれぞれの授業の中で、記憶や印象に残っている体験を具体的に記述できているか
- 2) 午前、午後のそれぞれの授業の中で学びや発見を具体的に記述できているか
- 3) 自分の考えを適切にわかりやすく記述できているか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)

服装 動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

2期 俳優の仕事を経験しよう！-感覚表現編-

午前中は、感覚や感情表現に焦点を当てた「演技」を経験します。午後は、各自の希望で「演技チーム」「ダンスチーム」「歌唱チーム」に分かれます。演技チームは台詞表現に、ダンスチームはミュージカルを想定したダンス表現に、歌唱チームは役柄を意識した歌唱表現に挑戦します。最後は、舞台デザインコースと合同で「舞台芸術とは？」を考える授業を実施します。

評価ポイント

体験授業型はオーディションではありません、授業です。今持っている演技力や技能よりも課題に向き合う姿勢や一日を通しての成長度、発見、気付きを重視します。

体験授業と合わせて実施する選考

一日を振り返り、発見したこと、気付いたこと、学んだことをレポートにまとめます。

評価ポイント

- 1) 午前、午後のそれぞれの授業の中で、記憶や印象に残っている体験を具体的に記述できているか
- 2) 午前、午後のそれぞれの授業の中で学びや発見を具体的に記述できているか
- 3) 自分の考えを適切にわかりやすく記述できているか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)

服装 動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

舞台芸術学科 舞台デザインコース

1期 様々な素材を使って動く舞台装置を作ろう！

動く舞台装置があることをご存知ですか？舞台を彩る舞台装置の中には、動くことで劇空間を生み出すものも存在します。今回の授業では、モチーフを読み解き、動く舞台装置をみなさんと創作します。動くという要素を取り入れた舞台装置をデザインし、創作することを通して舞台ならではの協働を経験してみましょう。授業の最後には、演技・演出コースと合同で「舞台芸術とは何か」を考えるワークショップを実施します。

評価ポイント

- 1) モチーフを読み込み、自分のデザインを考えることにチャレンジできるか
- 2) レクチャーを活かしてプランを修正できる学習能力があるか
- 3) 作業に臨む姿勢を通して、継続力、集中力があるか
- 4) 作品のプレゼンを通して、人に意見を発信する力があるか
- 5) グループワークを通して、他者とのコミュニケーション能力があるか

体験授業と合わせて実施する選考

教員と1対1の面談(3~5分程度)を実施します。

評価ポイント

人物像、独創性、積極性、熱意、これからの可能性を評価します。準備してきた回答ではなく、その場の質問を受けて、自分の言葉で何を語るかを重視します。

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、色鉛筆またはクレヨン(12色以上)、はさみ、のり、カッターナイフ(こちらでも用意しますが、ご自身で使いやすいものがあればお持ちください)

服装 汚れてもよい動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)、スカート不可、髪の毛の長い人は束ねる、または髪を束ねる為のゴム

2期 照明機材や平台などの舞台備品を用いて劇空間づくりに挑戦！

はじめに、モチーフを読み解き、自由に舞台空間をイメージして舞台のプランを作成します。その後、実際の劇場空間を使用し、照明や舞台備品を工夫しながらイメージした世界を表現してみましょう。色んな機材に関する学びやグループワークでの発見を活かして「劇空間」づくりに挑戦することで、舞台ならではの協働を経験します。授業の最後には、演技・演出コースと合同で「舞台芸術とは何か」を考えるワークショップを実施します。

評価ポイント

- 1) モチーフを読み込み、自分のデザインを考えることにチャレンジできるか
- 2) レクチャーを活かしてプランを修正できる学習能力があるか
- 3) 作業に臨む姿勢を通して、継続力、集中力があるか
- 4) 作品のプレゼンを通して、人に意見を発信する力があるか
- 5) グループワークを通して、他者とのコミュニケーション能力があるか

体験授業と合わせて実施する選考

教員と1対1の面談(3~5分程度)を実施します。

評価ポイント

人物像、独創性、積極性、熱意、これからの可能性を評価します。準備してきた回答ではなく、その場の質問を受けて、自分の言葉で何を語るかを重視します。

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)

服装 汚れてもよい動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)、スカート不可、髪の毛の長い人は束ねる、または髪を束ねる為のゴム

体験授業内容

持参物・服装

体験授業内容

持参物・服装

文芸表現学科 クリエイティブ・ライティングコース

1期 ことばの表現・創作を体験して学ぼう①

次のような、ことばを使ったさまざまな表現を体験する授業です。その場で読んだ小説の内容を正確につかみ、より深い味わい方を模索する読書会。授業でやり方を丁寧に教わり、800字～1200字程度の文芸作品を執筆する演習。文芸と社会についての講義(聴講した内容をもとにレポートを書きます)。これらの体験を通して、ことばの世界に対する興味が広がり、ことばとの関わりがより豊かなものになることを目指します。

評価ポイント

- 1) 読書会における「読解力」「要約力」
- 2) 文芸作品の執筆における「発想力」「文章表現力」
- 3) 講義における「傾聴力」「思考力」

体験授業と合わせて実施する選考

教員2名との個別面談を行います。

評価ポイント

- 1) 本学科とのマッチング
- 2) 大学で学び続け、成長していくことができる姿勢
- 3) 書くこと、読むことへの興味関心

2期 ことばの表現・創作を体験して学ぼう②

次のような、ことばを使ったさまざまな表現を体験する授業です。その場で読んだ小説の内容を正確につかみ、より深い味わい方を模索する読書会。授業でやり方を丁寧に教わり、800字～1200字程度の文芸作品を執筆する演習。文芸と社会についての講義(聴講した内容をもとにレポートを書きます)。これらの体験を通して、ことばの世界に対する興味が広がり、ことばとの関わりがより豊かなものになることを目指します。

評価ポイント

- 1) 読書会における「読解力」「要約力」
- 2) 文芸作品の執筆における「発想力」「文章表現力」
- 3) 講義における「傾聴力」「思考力」

体験授業と合わせて実施する選考

教員2名との個別面談を行います。

評価ポイント

- 1) 本学科とのマッチング
- 2) 大学で学び続け、成長していくことができる姿勢
- 3) 書くこと、読むことへの興味関心

体験授業内容

持参物

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)  
あなたが他者に紹介したいと思う「本」(1冊)  
※使用不可の用具:辞書、電子書籍

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)  
あなたが他者に紹介したいと思う「本」(1冊)  
※使用不可の用具:辞書、電子書籍

こども芸術学科 こども芸術コース

1期 こども目線で瓜生山を観察し、「物語」をつむぐ

こどもの可能性を引き出し、育むために、「物語」はとても大切です。まずは、緑豊かな瓜生山キャンパスで、あなたのこども心と呼び覚まし、自然をよく観察してみましょう。次に、こども目線でつけた気づきをもとに、みんなで物語をつむいでいきます。最後に、物語をこどもたちへ届ける方法を考えてカタチにしていきます。発想から構想へ、こどもと芸術をキーワードとした本学科での学びの方法が体験できる授業です。

評価ポイント

- 1) 他者のアイデアや意見に耳を傾け、グループワークに積極的に参加しているか
- 2) フィールドワークを通じて発想のタネを見つけることができるか
- 3) こどもにとって魅力的な物語(ストーリーライン)を構想できているか
- 4) 楽しみながら見直しをもって完成までやり遂げることができるか
- 5) 他者を意識した対話的なプレゼンテーションができているか

体験授業と合わせて実施する選考

グループ面談を実施します。

評価ポイント

- 1) 質問を的確に理解し、対話することができるか
- 2) 考えや思いを自分の言葉で伝えることができるか
- 3) 学科での学修内容を理解し、志望動機や学びへの意欲・意志が明確かどうか

2期 こどもが遊びを発見する「遊具」を構想する

大人にとっては見慣れた平凡な場所でも、こどもはそこでワクワクしながら何かを発見し、次々と新しいあそびを創造していきます。あなたもこどもになったつもりで遊びを発見、創造してみましょう。そこで得た遊びのアイデアをもとに、こどもにとって魅力的な遊具を構想しカタチにします。そして、構想した遊具をみんなの前で発表し、アイデアを共有します。

評価ポイント

- 1) 他者のアイデアや意見に耳を傾け、グループワークに積極的に参加しているか
- 2) 授業内のワークを通じて発想のタネを見つけることができるか
- 3) こどもにとって魅力的な遊具のカタチを構想できているか
- 4) 楽しみながら見直しをもって完成までやり遂げることができるか
- 5) 他者を意識した対話的なプレゼンテーションができているか

体験授業と合わせて実施する選考

グループ面談を実施します。

評価ポイント

- 1) 質問を的確に理解し、対話することができるか
- 2) 考えや思いを自分の言葉で伝えることができるか
- 3) 学科での学修内容を理解し、志望動機や学びへの意欲・意志が明確かどうか

体験授業内容

持参物・服装

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳やノート  
使い慣れた描画用具一式(色鉛筆、クレヨン、水彩絵具、アクリル絵具など)、はさみ、水分補給のための飲料、雑巾(描画用具で水彩絵具やアクリル絵具を持参する場合のみ)

**服装** スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)  
野外で行動しやすい汚れてもよい服装、  
熱中症対策のための帽子やタオル

筆記用具(鉛筆、シャープペンシル、消しゴムなど)、メモ帳やノート、はさみ、カッター

**服装** 汚れてもよい服装、動きやすい服装、  
スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

# 外国人留学生体験授業型入試(1期・2期) **エントリー**に必要な書類

## 翻訳 証明書等が日本語・英語以外で書かれている場合

- 翻訳文も提出してください(原本と翻訳文の両方を提出してください)。
- 翻訳文には日本語学校や翻訳会社等で翻訳文が正確なものであるという証明を受けてください。
- 翻訳文には翻訳者氏名、所属および翻訳者の捺印/署名が必要です。

## ダウンロード 指定書式の書類をダウンロード

インターネットエントリー登録後、出願ページの「出願確認」からダウンロードし、印刷してください。

外国人留学生体験授業型入試(1期・2期) エントリーに必要な書類			
	書類の種類	注意事項ほか	様式
1	エントリー申込書 <a href="#">ダウンロード</a>	インターネット登録後、印刷したものを必ず提出してください。	指定書式
2	経歴書 <a href="#">ダウンロード</a>	志願者本人が黒ペンを使って直筆で記入してください。(鉛筆・フリクションペンは不可)	指定書式
3	在留カード (該当者のみ)	表面・裏面両方のコピーを提出してください。裏面が無記入の場合でも必ずコピーを提出してください。※海外在住により所持していない場合は提出不要です。	コピー
4	高等学校 (後期中等教育機関)の 卒業(見込)証明書等	<p>P02のエントリー資格・出願資格において(1)-(6)で各自があてはまる証明書(原本)を準備してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業証書(diploma/毕业证书)ではなく卒業証明書(Graduation certificate/毕业证明书)が必要です。</li> <li>・証明書の発行年は問いません。</li> <li>・代理機関から発行されたものは不可。</li> </ul> <p>※中国本土の教育機関を卒業された方はCHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する英文の証明書でも可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合否にかかわらず返却不可。</li> <li>・電子版証明書(PDF含む)を提出する場合は、個人の証明内容が確認できるサイトにアクセスできるQRコードやURL等の記載がある書類のみ可</li> </ul> <p>P02のエントリー資格・出願資格において(2)(3)の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入学資格検定の合格証明書(高卒認定や国際バカロレア等)</li> </ul> <p>P02のエントリー資格・出願資格において(1)(2)の12年未満の課程で準備教育課程を修了した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備教育課程を修了(見込)している場合は準備教育課程の修了(見込)証明書も追加書類として提出が必要です。</li> </ul> <hr/> <p>以下の場合には次の1または2の方法を取ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 卒業証明書が発行されない場合</li> <li>● 原本のみ1通しか発行されない場合</li> <li>● 電子版証明書に個人の証明内容が確認できるQRコードやURL等の記載がない場合</li> </ul> <p>1. 公証役場で公証した証明書 例) </p> <p>2. 証明書(証書)の発行機関(出身の高等学校等)で原本のコピーを取り、コピーに発行機関の公印を押印したもの</p>	原本 (コピー不可) <a href="#">翻訳</a>
5	封筒貼付用宛名シート <a href="#">ダウンロード</a>	市販の角2サイズ封筒(縦33.2cm×横24.0cm)に <b>本票を貼付け</b> 、簡易書留速達または持参し提出してください。	指定書式

# 外国人留学生体験授業型入試(1期・2期) **出願**に必要な書類

## 翻訳 証明書等が日本語・英語以外で書かれている場合

- 翻訳文も提出してください(原本と翻訳文の両方を提出してください)。
- 翻訳文には日本語学校や翻訳会社等で翻訳文が正確なものであるという証明を受けてください。
- 翻訳文には翻訳者氏名、所属および翻訳者の捺印/署名が必要です。

## ダウンロード 指定書式の書類をダウンロード

インターネット出願サイト上でダウンロードし、印刷してください。

## 外国人留学生体験授業型入試(1期・2期)で「出願可」となり出願する場合に必要な書類

※出願可の手続き要項、出願書類についてはエントリー結果発表時に本学Webサイトにてお知らせいたします。

	書類の種類	注意事項ほか	様式
1	入学願書 <a href="#">ダウンロード</a>	必ず所定の用紙を使用してください。志願者本人が黒ペンを使って直筆で記入してください。 (鉛筆・フリクションペンは不可)	指定書式
2	検定料納付票貼付用紙 <a href="#">ダウンロード</a>	出願手続き要項の【出願方法・出願書類について】をご確認の上、検定料を払い込んでください。 払い込んだ受領書等控えを「検定料納付票貼付用紙」の所定の位置に貼付してください。	指定書式
3	写真1枚	入学願書に貼付してください。上半身、脱帽、正面、背景なし、縦4cm×横3cmで枠なし、 3ヵ月以内に撮影したもの。写真の裏面に氏名と志望コースを記入。 ※スナップ写真・カラーコピー・プリンターから出力したものは不可。	—
4	パスポート	氏名および顔写真が記載されたページのコピー(出願時点で最新のものを)を提出してください。	コピー
5	高等学校 (後期中等教育機関)の 成績証明書等	<p>P02のエントリー資格・出願資格において(1)~(6)で各自が当てはまる証明書(原本)を準備してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・証明書の発行年は問いません。</li> <li>・入学年度から卒業年度まで、学期ごとに成績状況が記載されているもの。転校している場合で、成績に前籍校の成績が反映されていない場合は、前籍校の成績も提出してください。</li> <li>・日本の高等学校で修得した科目がある場合は、あわせて当該高等学校の成績証明書を提出すること。</li> <li>・代理機関から発行されたものは不可。</li> </ul> <p>※中国本土の教育機関を卒業された方はCHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する英文の証明書でも可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合否にかかわらず返却不可。</li> <li>・電子版証明書(PDF含む)を提出する場合は、個人の証明内容が確認できるサイトにアクセスできるQRコードやURL等の記載がある書類のみ可</li> </ul> <p>P02のエントリー資格・出願資格において(2)(3)の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入学資格検定(高卒認定や国際バカロレア等)の成績証明書</li> </ul> <hr/> <p>以下の場合には次の1または2の方法を取ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 原本のみ1通しか発行されない場合</li> <li>● 電子版証明書に個人の証明内容が確認できるQRコードやURL等の記載がない場合</li> </ul> <p>1. 公証役場で公証した証明書 例) </p> <p>2. 証明書の発行機関(出身の高等学校等)で原本のコピーを取り、 コピーに発行機関の公印を押印したもの</p>	原本 (コピー不可) <a href="#">翻訳</a>
6	留学経費支弁誓約書 <a href="#">ダウンロード</a>	必ず所定の用紙を使用してください。留学経費の支弁者または志願者本人が直筆で記入のこと。	指定書式
7	留学経費支弁者との 関係 (該当者のみ)	留学経費支弁者との関係を明らかにする書類を提出してください。 ※留学経費支弁者が親族(父母、祖父母、兄弟姉妹、伯(叔)父、伯(叔)母)の場合、提出は不要です。それ以外の場合、志願者と留学経費支弁者との関係や支弁する理由について、事情が詳しくわかる書類を作成し提出してください。	コピー可 <a href="#">翻訳</a>
8	留学経費支弁者の 年間所得	留学経費支弁者の年間の所得などを公的に証明する書類を提出してください。[留学経費支弁誓約書]に記載された内容の前提となる公的書類一式を提出してください。 例) 会社員：年間所得証明書や預金残高証明書等 自営業・フリーランス・退職後：預金残高証明書等 ・1年以内に発行されたものに限りです。	コピー可 <a href="#">翻訳</a>

# 外国人留学生体験授業型入試(1期・2期) **出願**に必要な書類

	書類の種類	注意事項ほか	様式				
9	日本語教育施設 出席状況証明書 (該当者のみ)	日本語学校等の日本語教育施設に在籍中の方は、日本語教育施設にて記入された、入学～出願時点までの「出席状況証明書」(様式自由)を提出してください。 ※日本語学校等に在籍していない方(すでに卒業した方も含む)は不要です。	原本 (コピー不可)				
10	日本語試験の通知書類	<p>下表のとおり、該当する書類を提出してください。 期日までに届かない場合、判定不能のため不合格となります。 いずれか一つの書類を提出してください。</p> <p>(1)日本語能力試験(JLPT)の場合 …「認定結果および成績に関する証明書(原本)」を提出。(コピー不可) ※改めてJEESに「証明書」を請求してください。なお提出された証明書原本は返却いたしません。</p> <p>(2)日本留学試験(EJU)の場合 …「受験票のコピー」を提出。</p> <table border="1" data-bbox="469 645 1286 786"> <thead> <tr> <th data-bbox="469 645 866 678">2026年6月以前に受験</th> <th data-bbox="866 645 1286 678">2026年11月受験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="469 678 866 786">出願時に提出</td> <td data-bbox="866 678 1286 786">外国人留学生体験授業型入試1期・2期 に出願する場合 12月4日(金)必着</td> </tr> </tbody> </table> <p>【注意】複数回分の提出があった場合、一番最後に受験した回の分を採用します。</p>	2026年6月以前に受験	2026年11月受験	出願時に提出	外国人留学生体験授業型入試1期・2期 に出願する場合 12月4日(金)必着	指定あり
2026年6月以前に受験	2026年11月受験						
出願時に提出	外国人留学生体験授業型入試1期・2期 に出願する場合 12月4日(金)必着						
	<p>(1)日本語能力試験(JLPT) <b>コピー不可</b> <b>原本可</b></p> 	<p>(2)日本留学試験(EJU) <b>コピー可</b></p> <p>受験票のコピーを提出を提出してください。EJUオンラインから印刷した「成績確認書」など受験番号が確認できるものであれば可能。受験番号がわかるものがあれば、成績は必要ありません。</p>					
11	外国人留学生 体験授業型入試に 関する確認書 <a href="#">ダウンロード</a>	必ず所定の用紙を使用してください。志願者本人が直筆で記入のこと。	指定書式				
12	封筒貼付用宛名シート <a href="#">ダウンロード</a>	市販の角2サイズ封筒(縦33.2cm×横24.0cm)に <b>本票を貼付け</b> 、簡易書留速達または持参し提出してください。	指定書式				